

－ シンポジウム アンケート集計結果 －

アンケート回収数 102枚 (午前76枚、午後26枚)

男女の内訳 (記載のあった方のみ) 女性84人 (午前63人、午後21人)
男性10人 (午前7人、午後3人)

年齢の区分 (記載のあった方のみ) 20歳代 25人 (午前22人、午後3人)
30歳代 21人 (午前17人、午後4人)
40歳代 15人 (午前10人、午後5人)
50歳代 12人 (午前5人、午後7人)
60歳代 4人 (午前3人、午後1人)

住まいの地域 (記載のあった方のみ) 両国 2人 (午前2人、午後0人)
本所 1人 (午前0人、午後1人)
横網 1人 (午前1人、午後0人)
石原 1人 (午前1人、午後0人)
本所 1人 (午前0人、午後1人)
東駒形 2人 (午前2人、午後0人)
吾妻橋 1人 (午前1人、午後0人)
太平 5人 (午前4人、午後1人)
横川 2人 (午前2人、午後0人)
東向島 16人 (午前10人、午後6人)
墨田 4人 (午前2人、午後2人)
押上 3人 (午前3人、午後0人)
京島 4人 (午前2人、午後2人)
文花 1人 (午前1人、午後0人)
八広 2人 (午前1人、午後1人)
立花 2人 (午前2人、午後0人)
区外 18人 (午前13人、午後5人)

(台東区、松戸市、船橋市、葛飾区、江東区、市川市、品川区、
江戸川区、足立区、豊島区、荒川区、中央区、文京区)

1 本日のシンポジウムをどのようにお知りになりましたか。

- | | |
|------------|--|
| ① 区のお知らせ | 17人 |
| ② 区のホームページ | 5人 |
| ③ チラシ | 23人 |
| ④ 知人・友人から | 9人 |
| ⑤ その他 | 46人 (主な回答内容 ⇒ 保育園を通じて。子育て支援のメーリングリストで) |

2 ご感想をお聞かせください

(1) 基調講演「いまどきの子育てに必要なこと」について

- | | |
|-------------|-----|
| ① たいへんよかった | 60人 |
| ② よかった | 32人 |
| ③ 普通 | 7人 |
| ④ あまりよくなかった | 2人 |
| ⑤ 悪かった | 0人 |

(2) 「子ども・子育て支援新制度」の概要について

- | | |
|---------------|-----|
| ① たいへんよく理解できた | 4人 |
| ② よく理解できた | 29人 |
| ③ 普通 | 60人 |
| ④ あまり理解できなかった | 8人 |
| ⑤ 理解できなかった | 0人 |

(3) 「墨田区子ども・子育て会議」の概要について

- | | |
|---------------|-----|
| ① たいへんよく理解できた | 6人 |
| ② よく理解できた | 16人 |
| ③ 普通 | 53人 |
| ④ あまり理解できなかった | 8人 |
| ⑤ 理解できなかった | 0人 |

3 今後、このような講演会やシンポジウムで聞いてみたいテーマ等がありましたらご記入ください。

【主な意見】

- ・ ネット社会の中での子育ての注意点について
- ・ 子どもへの愛情の伝え方について
- ・ こどもの運動不足、体力激減について
- ・ 小1の壁について
- ・ 育て急ぎしなくてよい子育てについて
- ・ 多様化した価値観やニーズの中で生活したり、働く中での安心感の持てる子育てや保育について
- ・ 具体的に保育園はどうなるのか？ 保育時間、保育士の配置について
- ・ 子育てで一番子どもに関わる母親のサポートの充実について
- ・ 子どもを育てるための知識について
- ・ 幼保一元化、認定こども園について
- ・ 墨田区子ども・子育て会議（ニーズ調査？）の回収率が悪い点を、どのように区民の声として反映していくのか？
- ・ 子育ての中で困難に感じていることへの相談と解決策について
- ・ 乳幼児期に大切にすべきこととその対応例、また、そのために何が必要かについて
- ・ 子育てを地域で支援していく大切さ、方法について
- ・ 延長保育事業について
- ・ 学校選択制と中学を核とする学区分について
- ・ 区内小中学校の学校格差（学力、施設等）について、区はどのように捉えているのか？
- ・ 子育て、しつけ、乳幼児の子どもとの関わり方について
- ・ 乳幼児期に大切なことについて
- ・ 乳幼児期から学童期につながる子育てについて
- ・ 食育について
- ・ 子ども同士のつながりについて

4 墨田区の子育て施策に関して、ご意見やご要望等がありましたらご記入ください。

【主な意見】

- ・ 保護者の希望ばかりだと園が困ってしまうことが多くなる。その際に区は園にどう対応するのか。
- ・ 保育も大切だが小学校にも目を向けてほしい。子育てと教育を関連して考えてほしい。
- ・ 現場の人手と質のゆとりを確保してほしい。
- ・ 母子手帳と一緒に配布される資料のサイズが別々で重複もあり見づらい。一冊にまとめてほしい。
- ・ 保育士の臨時や非常勤職員が増え、正規職員の負担が重い。正規職員を増やしてほしい。
- ・ 子ども達や取り巻く人的環境がサザエさんの地域のような暖かな事業展開をしてほしい。
- ・ 私立保育園の研修講師に、企業保育園の保育士を招いてほしい。
- ・ 今日のような区民向けの無料のシンポジウムや基調講演があると良いと思う。

- ・ 区の担当が年度ごとに変わり、次の担当に一から話さなければならないのはやめてほしい。
- ・ 江東区や練馬区で幼児や小学生が泥遊びや秘密基地を作ったり魚を焼いたりする場所をNPOがやっている。墨田区でも自然に触れる広い場所やイベントをしほしい。
- ・ 現状はグラフ等で分かるが、それでは墨田区の子育てで何を考えているのか分からない。具体的にしていかなければならない。将来の日本を支えていく子育てはどうしていくのか目標を明確にしてほしい。
- ・ 消費税を財源とする新制度に株式会社も参入してくるのか不安だ。しっかりした調査の上安心できる施策をお願いしたい。
- ・ 墨田区の子育て支援施策も様々実施しているが、各関係機関の連携が取れていない。それを統括できる「子ども家庭センター」等を地域ごとに設置して透明化を図る必要があると思う。子育て支援総合センターは虐待対応で精一杯のようである。